

発行所

社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7 (建産連会館内4F)
TEL 048(864)0385
URL <http://www.saidenkyo.jp/>
E-MAIL kyokuchou@saidenkyo.jp

さいのかがやき

彩の耀

第154号

平成20年10月31日発行

発行人 佐野良雄
編集人 広報委員会
(委員長 熊田弘信)
編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

災害復旧対策講習会を開催

電業協会が県民を守る



あいさつする荻野副会長

9月9日、さいたま市の建産連研修センターへ会員企業担当者ら約80人を集め「災害復旧対策講習会」を開きました。講習会は3部構成で行い、第1部は県から

第2部は国からそれぞれ講師を招き防災に関して講演。第3部は協会として県民を守るため災害時のシミュレーションに関する説明を行いました。

冒頭、佐野良雄会長に代わって荻野勝治副会長は「危機管理意識は高くなりましたが、防災対策に関してはまだ甘い。本日はその対策に関する話を中心となります。阪神淡路大震災の話を伺うと災害復旧に関しては自助・共助・公助の3つが大切と言います。本日の災害復旧対策事業をよく聞き、会社の防災対策に役立てていただきたい」とあいさつしました。

講習会に駆け付けた立川吉朗県消防防災課長が「県内はいくつもの震災被害が予想されており、行政としても出来る限りのことはしているものの、実際災害が起こったら行政の取組だけでは対処できない。確かな技術を持った皆様の協力が非常に重要となる。確かな技術と県民を守る強い心構えを持っている協会の協力は県民にとっても財産となる」と県と防災協定を締結している協会に感謝の意を表するとともに、協会活動に期待を寄せるコメントをいただきました。

第1部講習会では消防防災課の富山晶主幹が「今すぐできる震災対策－企業における地震防災対策」と題し講演。①地震のメカニズム②最近発生した地震と近く想定される地震③企業における地震防災対策について説明。最悪の事態を想定して対応策を練り、実際に即した訓練を行うべき－など実例を挙げて解説していただきました。

講演第2部では国交省河川局防災課の細見寛課長が「最近の防災対策の動き－克災に向けて－」と題し、さいたま市で直下型地震が起こった場合のシミュレーションや利根川が破堤した場合の被災想定などを解説。国の防災に対する考え方が減災から克災に変わってきていることなどを分かりやすく説明していただきました。

講習会第3部では協会における「災害時の実働体制について」説明。協会事務局が内容を説明し、事故防止対策委員長がシミュレーションについて解説しました。



熱心に講演を聴く参加者

「彩の耀」に寄せて



上尾市イメージマーク
「アッピー」

愛称の意味

あげおの「ア」、上昇や向上を意味する「アップ」、さらに幸せの「ハッピー」を合わせた「アッピー」という意味です。

イメージマークの意味

「AGEO」の頭文字「A」をモチーフとして、両手で大きな「マル」を描いて、市民相互の潤和と触れ合いの輪がより大きく広がっていく願いを込めています。

青いラインとそれに囲まれた緑は、水と緑の豊かな上尾の自然を、笑顔の赤は希望に満ちた元気な市民とまちの活力を表します。そして人も自然もまちも、上尾のすべてが未来に向けて限りなく快適で元気に発展していくことをイメージしており、上尾市のステートメント「あなたに げんきを おくるまち」に合致するものです。

時の人 上尾市長 島村 穰

社団法人埼玉県電業協会の皆様におかれましては、日ごろ電気設備産業の適切な運営と健全な発展に多大なるご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

荒川や綾瀬川の河川、原市沼川などの水辺環境など、良好で美しい里山的自然景観が残されている本市は、今年、市制施行50周年の佳節を迎えております。市制施行された昭和33年7月15日当時の人口は3万7千人余でありましたが、首都東京から35kmの距離という地理的条件の良さに、国の高度経済成長政策も加わり、田園都市から工業都市、そして住宅都市へと変貌してきました。人口も現在では22万5千人を超え、埼玉県の中核をなす都市へと発展しております。

そのような中、今年は、「笑顔の数だけ花咲く未来 あげお50年」をキャッチフレーズとして、市民の皆様が笑顔いっぱい暮らしていただけるような各種施策やイベントを数多く展開しております。

昨年から開始した、市の顔ともいえる上尾駅のバリアフリー化を含む改修工事も順調に進んでおります。エスカレーターやエレベーターの設置をはじめ、駅東口と西口を結ぶ自由通路を20mに拡幅するなど、誰もが、いつでも使いやすい優しい駅として生まれ変わるべく、三年半という期間をかけ、工事の完了した箇所から順次ご利用いただきながら、平成22年度中の完成を目指しています。

また、上尾駅周辺で毎年実施しております「あげおイルミネーション」も、冬の風物詩として多くの皆様にご好評をいただいております。市民参加型のイルミネーションをコンセプトとして、市内の小中学生による手作りイルミネーションをはじめとする数多くの作品が、冬の街を幻想的に彩りますので、是非ご覧いただければ幸いです。

さて、近年、市民生活の安心・安全の確保がより一層求められています。今年は、5月12日に発生した中国四川大地震をはじめ、6月14日には岩手・宮城内陸地震、7月24日には岩手北部地震と国内外で相次ぎ大震災が発生しました。この夏には、短時間に都市部を襲う集中豪雨、いわゆる「ゲリラ豪雨」による被害も多発するなど、突発的な災害による被害は後を絶ちません。

上尾市においては、「安心・安全な街づくり」にむけて、市域西側の消防拠点となる西消防署を整備いたしました。市の東西それぞれに消防拠点となる消防署を設置することで、緊急事態に迅速に対応するための都市基盤を実現いたしました。さらに、首都圏直下型地震、東海地震など大規模な地震の発生が危惧されていることから、新たな地域防災計画も策定いたしました。

阪神淡路大震災や新潟中越大地震の際も、市民生活に直結するライフラインの復旧が何よりも優先されるべき課題となりましたが、日ごろから社会生活の安定及び社会福祉の向上のため、調査研究活動を進めている皆様と今後も連携を図って参ります。

本市も市制施行50周年という大きな節目を契機といたしまして、これまで半世紀にわたる上尾市発展の歴史を称えとともに、誓いを新たに将来に向けた更なる飛躍を目指し、「こどもからおとしよりまですべてに優しい思いやり市政の実現」のため、邁進する所存でございますので、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社団法人埼玉県電業協会のますますのご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、あいさついたします。

安全大会を開催

強い心で
無災害達成を



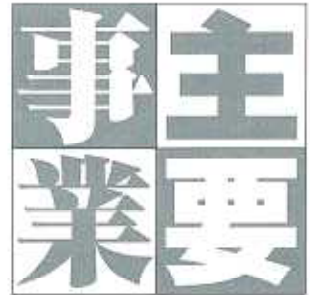
佐野会長



真壁課長



白石講師



6月24日、さいたま市の県民健康センターで20年度安全大会を行いました。大会には会員企業から安全衛生責任者のほか経営者など多数が出席し、繁忙期を迎え無災害を誓いあいました。

大会に先立ち佐野良雄会長は「我々の現場には危険が隠されており、様々な安全対策が講じられています。大切なことは安全風土醸成を身につけること、無意識のうちに安全対策を施している—といった危険を回避し未然に防ぐ心がけです。人の命は何物にも替えることは出来ません。我々は安全を最優先に考え、危険に対して厳しい姿勢で対応し業務を遂行、事故を起こさないという強い心で無災害を達成しましょう」と呼び掛けていました。

埼玉労働局の真壁秀夫安全衛生課長に県内の労働災害発生状況を説明いただきました。死亡災害は50人を割り込み比較的良い数値と思われていますが、それでも全死傷災害のうち25%は建設業が占めていることを指摘し「多くの災害は皆防げたものばかりであり、正確に言えば「防がなかった」と言うのがほとんど。事故を目の当たりにした安全衛生責任者は皆一様に「まさかこんなことが起こるとは思わなかった」と言います。リスクアセスメントなどで

事故の芽を限りなく潰していくことが災害を減らす手段と言えます。これから増えるであろう熱中症など対処方法をしっかりと知っておくことも大切です」と語り、「慣れ」により危険の芽を見逃すことのないよう注意を呼び掛けていました。



多数の協会員が会場に駆けつけた

富士火災海上保険㈱の白石勝美リスクマネジメントサービス部長から「安全作業と災害防止—管理者の責任—」と題し安全講話をいただき①繰り返し型災害は何故繰り返されるのか②労働災害のうち人間の判断が原因となるもの③セーフティコミュニケーションの重要性(作業現場のルールを守るためにはどうするか)—などについて話がありました。

最後にスローガンである「トップが率先 みんなが実行 つみ取ろう職場の危険」を唱和して安全大会の幕を閉じました。

犬にも負けず、暑さにも負けず

岡島電気商会 代表取締役 岡島 光孝

協会だより
西部支部

西部支部の活動のひとつである「彩の国ロードサポート」は川越市内の県道で行われています。西部支部の範囲は、荒川の西側で、南は和光市から、北は川島町・坂戸市までの14市4町に亘ります。この活動は県道路愛護の取り組みのひとつであり、継続性の有るボランティア活動になります。今年で5年目になります。

当初、活動場所を決めるに当たり、継続性と会員の集まり安さを考えて決めました。参加する支部会員18社、約20台の駐車場が必要になります。有り難いことに、川越自動車学校が協力を申し出てください、この問題も無事解決。そこで川越自動車学校の前の通りを中心に活動することになりました(毎回、駐車場を利用させていただき大変感謝しています)。実施日は学校の休みに合わせて月曜日に行っています。

活動内容は清掃、除草、空き缶・ごみ拾いとなっていますが、歩道の雑草取りが主な内容です。年4回の活動予定日を決めるのは、なかなか難しいです。なにしろ自然が相手なので、歩道の雑草の伸び具合、街路樹イチョウの葉っぱの茂り具合と落葉の時期、などをみながら考えます。いざ、その時期になってみないとなかなか決まりません。



この道は泉小学校の通学路になっています。雑草が大きくなると歩道を両側から狭めて、歩きにくくなってしまいます。イチョウの葉っぱが子供の背丈で茂ると、歩行者・運転手

双方から見えにくくなってしまいます。枝刈りまではしませんが、下の方の葉っぱを落として、双方の視界を良くしています。

また、犬の散歩道にもなっています。最近はおもい主のマナーも良くなっていますが、それでも雑草が伸びると、その中に犬のフンを置かれてしまいます。草を抜いたら土と一緒にフンが顔を襲ってくる時があります。「マスクとゴーグルも必需品」そんな感じの作業になります。イチョウの根元は犬のオシッコのニオイも臭いです。犬の習性なので仕方ありませんが、作業の後で鼻の穴の中まで洗いたくなくなってしまいう程です。

活動回数をかさねるごとに、空き缶、ペットボトル、タバコの吸殻の量は随分減ってきています。みんなのマナーが、良くなって来ているのが実感出来ます。

梅雨時の雨を避け、熱中症にならないように注意しながら、汗でシャツをびしょりにして清掃していると、「本当、いつもありがとう」と道路に面したカフェテラス・ロッジのマスターがヨイショしてくれます。作業の後には、「びんでい」でインド人コックの作る本場の辛いカレーとラッシーを参加者全員が楽しんで終わります。



「彩の国ロードサポート」活動はこれからも続きます。私たちの活動が地域の皆様に理解されて「みんなの道路をきれいにしていこう」の気持ちが、広がればと思います。

地球温暖化防止

②二酸化炭素の削減と省エネルギー その1



SEEDO
関根 康明

■二酸化炭素の削減

地球温暖化を防止するため、京都議定書で二酸化炭素などの温室効果ガスを1990年度より6%減らすと約束しました。しかし、家庭から出る二酸化炭素は年度により多少の差はありますが、30~40%も増えています。

1家庭から年間出される二酸化炭素は約3,400kg (1730 ml)

です。500mlのペットボトルが346万本という数になります。

各人がどのくらい二酸化炭素を排出しているか認識してもらうため、電気代、ガス代、ガソリン代の領収書に、具体的な数値を明記する話があります。

■電球型蛍光灯

経済産業省は、2012年末までに白熱電球の生産・販売を中止し、電球型蛍光灯に切り替える方針です。

見た目は普通の電球なのに中身は蛍光灯という電球型蛍光灯が注目されています。

60Wの場合、電球型蛍光灯の消費電力は白熱電球の5分の1で、寿命は6倍です。ただ、単価は1000円を超えており、白熱電球のおよそ10倍です。

家庭の白熱電球をすべて電球型蛍光灯にすると、二酸化炭素の排出量は年間で約200万トン減ると試算があります。地球温暖化防止に大きく貢献している製品のひとつです。

現在、国内出荷個数は白熱電球の25%程度ですが、5~6倍長持ちしているわけですから、半分かりの家庭の電球は電球型蛍光灯になっていると考えられます。

■省エネ対策

●お金をかけない省エネ

省エネルギーをすれば二酸化炭素と費用を減らせます。二酸化炭素を減らすことは省エネルギーと密接に関連しています。お金をかけずに、あるいはほとんどかけずにできる省エネの例をあげます。

種目	項目	内容
電気	待機電力のカット	スイッチ付 テーブルタップの使用
	人感センサによる照明制御	スイッチ切り忘れ防止
	タスク・アンビエント照明	必要な部分のみ点灯
空調	外気冷房	室内より外気が低いとき外気導入
	エアフィルタ清掃	こまめな清掃等
	冷暖房温度の設定	夏季28度、 冬季22度設定
	室外機の涼対策	周囲を樹木、土等。屋根

●お金はかかるが効果の大きい省エネ

改修費は多少かかりますが、地球温暖化防止に役立ちます。現実的にも光熱水費は安くなるのでお勧めしたいものの一例です。

種目	項目	内容
電気	HF蛍光灯	高効率器具採用 25%省エネ
	インバータ機器の使用	電気機器全般
空調	外気導入量削減	二酸化炭素濃度を見ながら制御
	空調換気扇	熱交換できる換気扇に更新
建築	日射遮蔽ガラスフィルム	夏の日射による冷房負荷削減
	窓ブラインドカーテン	夏の日射による冷房負荷削減 冬の日光導入を妨げない

ストレスを感じない程度から少しずつ省エネするのがコツです。

◆関根 康明 (せきね やすあき)
1951年、埼玉県川越市生まれ。埼玉県庁勤務の後、SEEDO

(SEKine Engineering Design Office) 代表。出前講座、資格取得支援等をおこなっている。

ネットワーク構築で講習会開催

設計施工の要点を解説



佐野会長

建産連研修センターで7月1日に「LANの計画・設計・施工の要点」と題した技術講習会を開催しました。当日は会員のほか県や市町村の技術者ら約100人が参加、受講者は一様に講師の話に聞き入り熱心にメモを取っていました。

佐野会長は「国を始め県市町村も技術と経営に優れた企業が生き残るような政策を推し進めている。我々協会としても技術力を高めるため、様々な施策を進めておりその一環として今回の技術講習会を開くことになった。今回のテーマはLANの構築であり、このテーマは勉強している者とそうでない者の差が顕著に出るものです。今まで以上に仕事をこなしていくためには技術を高めていく以外に方法はない」と、講習が実のあるものとなるよう期待するあいさつを行いました。

講義は「LAN設計施工マニュアル改訂版」をテキストに、東光電気工事株の昆正文氏がケーブルの配線や機器収納、試験・検査などについて解説。休憩をはさみ、住友電設株の和田保久氏が機器と保守運用、設計と将来動向について解説。最後に質疑応答とまとめを行い幕を閉じました。



熱心にメモを取る受講者

最近の世相に思うこと

中村電設工業(株) 代表取締役 中村 章一



最近、子供が親を殺したり、子供の面倒を見切れなくなった親が事件を起こしています。様々な時代的背景があるとは思いますが、家庭での躾や子育ての方針の変化が大きな要因であると感じます。「自分も他人も大切に」「感謝の気持ちを忘れない」といった基本的なことを家庭できちんと教えられていないように感じるのです。

言葉で教えることは簡単です。しかし経験から学んだことほどは身につきません。

私がサッカー少年団を設立した当初のことです。サッカーの試合は日曜日にあり、子供達には弁当を持たせてくれるよう保護者の方々にお願いしましたところ、コンビニで弁当を買って持たせる親がいたのです。それぞれの家庭で様々な事情があったとは思いますが、当クラブでは、方針として、保護者が自分で弁当を作って持たせて欲しいというお願いをしました。ささいなことではありますが、子供達にとって自分の為に弁当を作ってくれる後姿が、子供に愛されているという自信を持たせてあげられるのです。愛されて育った子供は決して自分も人も粗末にしないはずなのです。

また、最近は親が子供に手をかけすぎる節があるように感じます。子供のやることを1から10まで管理しすぎるのです。親が何もかも管理して育てると、子供は考えなく

なります。そして、「考えずに行動する、失敗したら人のせいにする」そんな人間に成長してしまうのではないのでしょうか。ある程度は子供の自主性にまかせ、放っておく。そうやって子供が自分で物事を判断できる様に育てるのが親の役目ではないのでしょうか。

子供のことを大切に思うことと、自分の思い通りに育てようとするのは全く異なることです。管理しようと思えば、いずれそれは子供の負担となり、親自身の負担となっていきます。「子供は思い通りにはいかないもの。それが当然なこと」と思っていれば、子育てはとても楽になります。親が楽な気持ちでいれば、子供もゆったりとおおらかに育つものです。気持ちに余裕がなければ、学ぶことはできないと思います。沢山の人の囲まれて人の気持ちに接する。そんな中から、子供達は人を思いやったり、感謝したりということを学ぶのです。

今回の北京オリンピックを見ていて、選手の談話を聞いていても感じたことですが、どの選手も「親に感謝する」「周りの人に感謝する」という言葉がでできます。そのように今の子供達を育てたいものです。

そうすることによって毎日のニュースや新聞に悲惨な記事を見なくて済むようになるのではないのでしょうか。

6月

- 4・9日 新役員挨拶回り
- 11日 第5回理事会
平成20年度全体会議
- 24日 消防用設備等保守点検業務説明会
平成20年度安全大会

7月

- 1日 平成20年度第1回技術講習会
- 8日 第6回理事会
- 15日 挨拶回り
企業対策委員会
- 22日 挨拶回り
- 30日 事故防止対策委員会

協会のうごき

8月

- 28日 人材育成検討委員会〔企業対策小委員会〕

9月

- 3日 平成20年度電気工事基幹技能者特例講習会
- 9日 下水道公社要望書提出
災害復旧対策講習会
企業対策委員会／人材育成検討委員会〔企業対策小委員会〕
- 17日 第7回理事会
- 22日 1級電気工事施工管理技術検定試験

受験準備講習会(実地コース)1/2

- 26日 「災害実働マニュアル(別冊)」配布
- 29日 1級電気工事施工管理技術検定試験
受験準備講習会(実地コース)2/2

10月

- 7日 第8回理事会
- 22日 企業対策セミナー

11月

- 11日 第9回理事会・県設備課との意見交換会
- 25日 協会共催・設備設計事務所協会技術研修会

12月

- 9日 第10回理事会

(社) 埼玉県電業協会会員

支部長 ◎ 副支部長 ○

さいたま支部 (16社)

- 旭電気工業(大宮区)
- 浦和電気工事(南区)
- 大塚電設(浦和区)
- ◎ 桐岡村電機(緑区)
- 国益電設工事(南区)

(さいたま市)

- 埼玉電設(中央区)
- 三洋電設(南区)
- 新生電気工事(見沼区)
- 竹内電気(岩槻区)
- 株積田電業(浦和区)
- 中村電設工業(見沼区)
- 浜野電設(北区)
- 株万代電気工業(桜区)
- 瑞穂電設(北区)
- ムサシ電機工業(桜区)
- 株八洲電業(北区)

東部支部 (10社)

- 株内田電気商会(久喜市)
- 株大久保電気(越谷市)
- 島村電業(上尾市)
- 株新電気(三郷市)
- ◎ 株大広電気(八潮市)
- 太平洋電設工業(越谷市)
- 株高岡電気工業(松伏町)
- 野口電気工事(越谷市)
- 武蔵野電設(蓮田市)
- 株弓本電設(白岡町)

西部支部 (18社)

- 株新井電機(飯能市)
- 飯島電器工事(川越市)
- 株市之瀬電設(志木市)
- ◎ 株岡島電気商会(川越市)
- 株おぎでん(川越市)
- 株三共電気商会(和光市)
- 株関根電気商会(川越市)
- 相馬電業(和光市)
- 株電成社(川越市)
- 株中村電気(新座市)
- 橋電機(所沢市)
- 株橋本電工(所沢市)
- 馬場電気工業(新座市)
- 浜田電機(坂戸市)
- フジヤ電気工事(川越市)
- 株松本電機(和光市)
- 株ヤマト・イズミテクノ(ふじみ野市)

南部支部 (11社)

- 内山電設(川口市)
- 株奥富電気工事(川口市)
- 川島電気(川口市)

- 株佐久間電設(川口市)
- 佐野電機(川口市)
- ◎ 三位電気(川口市)
- 高山電設工業(川口市)
- 株田部井電気(鳩ヶ谷市)
- 釣谷電機(川口市)
- 那須電機工業(川口市)
- 領家電設(川口市)

北部支部 (16社)

- イーテクノ(熊谷市)
- 株エコー(深谷市)
- 岡根電気工事(本庄市)
- 小沢電気工事(行田市)
- 共和電機(秩父市)
- ◎ 熊谷電機(熊谷市)
- 株崇原電機(深谷市)
- 霜田電気(皆野町)
- 中外電気工業(深谷市)
- 株東電工業(熊谷市)
- 株長井電機(熊谷市)
- 株沼尻電気工事(深谷市)
- 株早川電工(行田市)
- 松山電設(東松山市)
- ムサシ電機工業(行田市)
- 株羅進電気(深谷市)



雇用・能力開発機構では、雇用管理に関する事業を行っており、公的資格取得や能力開発のための各種事業及び助成金を行っていますので、お気軽に協会窓口まで、ご相談下さい。

独立行政法人 雇用・能力開発機構埼玉センター

<雇用開発業務>

良好な雇用機会の創出と雇用環境の改善を図るため、新分野進出の支援をはじめ雇用管理全般の相談・情報提供等を行うほか関連の助成金支給や勤労者の財産形成促進等を業務としています。

<能力開発業務>

離職者のための機動的な委託訓練コースや在職者に対する能力開発セミナーなど職業訓練を実施するとともにキャリア形成に関する相談・情報提供、助成金支給等を業務としています。

◆電話 048-882-4164 [建設労働・財形担当]

◆FAX 048-882-4166

◆所在地 〒336-0931 さいたま市緑区原山2-18-8